

# 資料2)益城中央線の利活用に関する益城町の取組



## 1. ウォーカブル推進都市宣言

- ◆ 宣言を行った理由と現在取り組んでいること
  - ・ 現在、町では熊本地震後の復興事業である益城中央線拡幅事業により、5.5mの自転車歩行者道が新たに整備され、より良い公共空間の創出、歩きたくなる町の形成を目指している。また、益城町総合計画及び益城町都市計画マスタープランにおいても、道路の持つ本来機能である交通機能や防災機能の整備にとどまらず、「沿道を人々が歩き集うこと」により、**にぎわいのある都市空間の形成**を図ることを大きな目標とし、益城町は、**令和2年8月に「ウォーカブル推進都市宣言」**を行った。
  - ・ 益城中央線沿線のにぎわいづくりのために沿線空間の工夫の一つとして、狭小用地を**“にぎわいの連鎖を進展させる”**利活用を計画。
    - ・ 駐輪場整備計画策定(令和4年8月) ⇒ 歩きたくなるまちづくり
    - ・ ポケットパーク整備
- ◆ 宣言を行ったことによる期待される効果
  - ・ 先進事例の情報共有や政策づくりに対する意見交換を行うことで、**まちづくりの視点や幅**が広がる。
  - ・ 事例収集や豊かな生活空間づくりに必要となる**財源の確保**に向けて、国の交付金の優先配分が期待される(都市再生整備事業の補助率が5%上乗せされる等)。

### ◆ウォーカブル推進都市とは

世界の多くの都市で、まちなかを**車中心からひと中心の空間**へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組が進められている。

これらの取組は、ひと中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、**地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止**ほか、**様々な地域課題の解決や新たな価値の創造**につながる。

<益城中央線拡幅後のイメージ>



## 2. まちなみづくり推進事業

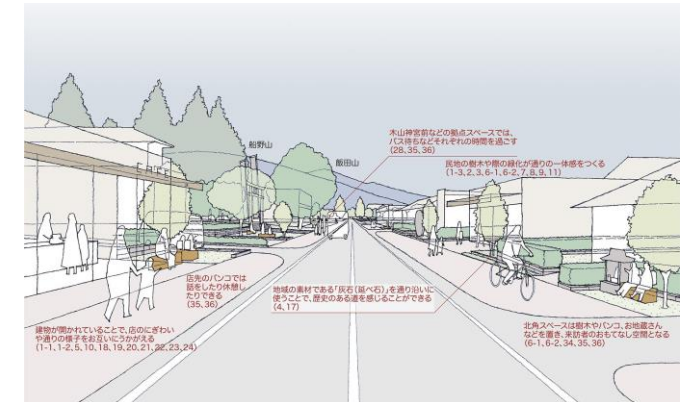
- ◆ 「まちなみ協定」等策定費用補助
  - ・ 高付加価値空間を創出するためには、**地域の独自性を踏まえた一つの考えを、目に見える形でまとめる**ことが重要。
  - ・ 地域等による「まちなみ協定」の策定費を全額補助する(上限有り)。
  - ・ 実績「まちなみ協定」2件(蛭子町、木山上町)
- ◆ 高付加価値空間創出に向けた補助
  - ・ 個人・法人等が「まちなみ協定」等に沿って「**“潤いのある空間” “開かれた空間”**という良好な地域環境」の創出に向けて**創意工夫による取組**を行う際に、その費用を補助する(補助率2/3)(上限有り)。

補助対象例

- 「気持ち良い」と感じられる空間づくり
  - ・ 緑化(木陰の創出、緑や花に囲まれる空間の整備 など)
  - ・ まちなみを形成するパーツの美化
- 集える空間づくり
  - ・ コミュニティスペースの整備(ベンチの設置、広場空間整備 など)
- 店外で営業できる空間づくり
  - ・ 店外営業空間の整備(テラス席の整備、テント、オーニング など)

- ・ 実績「高付加価値空間整備事業」(個人)2件(他1件相談)

### <まちなみ協定の例:横町線まちなみBOOK>



### <まちなみ協定の例:木山上町地区まちなみ協定>





# 益城中央線の利活用に関する益城町の取組



## 3. 狭小用地の活用

- ◆ 沿道のにぎわいづくりにおける“狭小用地”の重要性
  - 益城中央線拡幅事業により、沿線には、通常の宅地と比べると狭小な用地が多く発生する。これらの土地は、**沿線を人が歩き、集うことによるにぎわいづくりのための大きなポテンシャル**を持つ。
- ◆ 具体的な活用策
  - 道路空間（歩道空間）と連携した“人がより歩き集う”利活用
    - 歩道を歩き集う人が、快適に過ごせる場（例：**ポケットパーク**）
  - 沿道空間と道路空間（歩道空間）双方と連携した“人がより歩き集う”利活用
    - より広範囲からの人が、歩き集うための場（例：**バス停付近の駐輪場**） 駐輪場整備計画（令和4年8月 策定）
- ◆ 用地買収・整備
  - 本年度より用地買収及び設計を行い、令和5年度より整備を進める。

（予定 ポケットパーク 6箇所 駐輪場 6箇所）

<狭小用地活用のイメージ①ポケットパーク>



<狭小用地活用のイメージ②駐輪場>



（駐輪場整備計画策定 令和4年8月）

## 4. 惣領にぎわい拠点(BOX PARK マシキリ)

- ◆ 第6次益城町総合計画において「地域拠点」と位置付けている惣領交差点周辺にて、益城中央線拡幅事業等に伴い**移転を余儀なくされる事業者及びにぎわいに資する新たな誘致店舗**の入居先となる**テナント施設**の整備を支援。熊本地震からの「復興のシンボル」として、町のにぎわいの向上や中心市街地における回遊人口の増加を図る。



名称	BOX PARK マシキリ
住所	益城町大字惣領1505番地1
運営開始日	令和4年5月28日
運営会社	株式会社新時代くまもと
主要機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活利便機能</li> <li>● 憩い・活動機能</li> </ul>
敷地面積	約2,500㎡
用途地域	準住居地域
駐車場	あり(約45台)

<施設中央部分>



<施設外観>



<入居店舗一覧(令和4年10月26日時点)>

	店舗名	業種
1階	つつみ屋 熊本益城店	団子屋
	おぐらの唐揚げ	唐揚げ
	seed burger	ハンバーガー
	men × abura	油そば専門店
	ペットサロンエムズ アウトレット益城店	ペット用品販売
	H coffee laboratory	カフェ
2階	誠翔	居酒屋
	大地とぱん	パン屋
	LA RA CHEESE	チーズケーキ専門店
	BONNE JOURNée!	サラダバー
	Bar OCEAN	バー
	LaurelBEE×CENO	エクステリア商材販売
	Baked Arium	スコーンカフェ
床屋さんちあき	理容室	